

令和 8 年 7 月 30 日

福岡普及指導センター 活動情報

No. 1 0

今年こそはセンリョウの出荷量と品質向上を目指して

～ 糸島センリョウ研究会が現地検討会開催 ～

糸島地区は生産面積 9ha 以上を誇る、全国有数のセンリョウ産地です。しかし近年は、夏季の高温や炭疽病の影響により、出荷率や品質の低下が課題となっています。こうした状況を踏まえ、令和 8 年 7 月 17 日、JA 糸島センリョウ研究会は、生産者 4 名、花市場関係者、JA 糸島、普及指導センターが参加し、現地検討会を開催しました。

検討会では、現在の生育や病害の発生状況、ほ場の管理状況について調査・検討が行われました。また、高温対策として新たに導入した「遮熱資材」の実証ほを見学し、その効果や実用性について活発な意見交換がなされました。

普及指導センターからは、実落ち(果実の落下)を軽減するために欠かせない今後の水管理や防除対策の重要性等について説明しました。

研究会員同士で炭疽病への具体的な防除対策について認識が共有され、有意義な現地検討会となりました。

普及指導センターでは、今後も関係機関と連携し、センリョウの出荷数量および品質向上に向けた支援を継続してまいります。



現地検討会の様子



高温対策実証ほ場の様子

【問合せ先】

福岡農林事務所福岡普及指導センター 園芸課 果樹花き係

〒819-0371 福岡県福岡市西区大字飯氏902-1

Tel:092-806-3400 Fax:092-806-3367

e-mail: fukuoka-dlc@pref.fukuoka.lg.jp

HPはこちら

